

2017年度 学位授与の方針（学生が身に付けるべき資質・能力の目標）に照らした学修成果に関する検証

FD委員会

マイステップ・リエゾンポートフォリオ「学修成果の把握（学科／研究科専攻の学位授与の方針）」のデータを活用した検証です。

学科の学位授与の方針（学生が身に付けるべき資質・能力の目標）については、本学ホームページの「教育方針」（下記のURL）をご覧ください。

<https://www.tfu.ac.jp/aboutus/policy/index.html>

学科・研究科専攻	検証の結果
保健看護学科	<p>2017年度保健看護学科 学修成果の把握 報告書</p> <p>I. 学修成果の把握（学科の目標 学位授与の方針）</p> <ol style="list-style-type: none">1. 各学年の分析対象数は、1年生が70名(86.4%)、2年生が41名(48.8%)、3年生が35名(48.6%)、4年生が43名(55.8%)であった。2. 全学年を通して、全ての項目及び学年において平均3.0以上であった。3. 全学年を通して、高得点の項目は、コミュニケーション能力(3.7)、努力する態度(3.7)、倫理観(3.6)、人間理解(3.6)であった。低得点の項目は科学的・論理的思考(3.3)、多様性(3.4)、創造性(3.4)であった(図1)。4. 1年生が2年生より高い項目が、人間理解、科学的・論理的思考、努力する態度の3項目であった。これらについては、現2年生の自己評価の低さや、カリキュラムの構成上2年生での授業時間が少ないこと等が影響していると考えられる。教員は2年生で評価が下がることのないように工夫する必要がある。3年生が4年生より高い項目が、創造性の1項目であった。他の項目については、学年が上がるにつれて高くなっていた。教員は、評価が低い学年や項目について、授業や実習等の中で高めていけるように努力していただく必要がある。

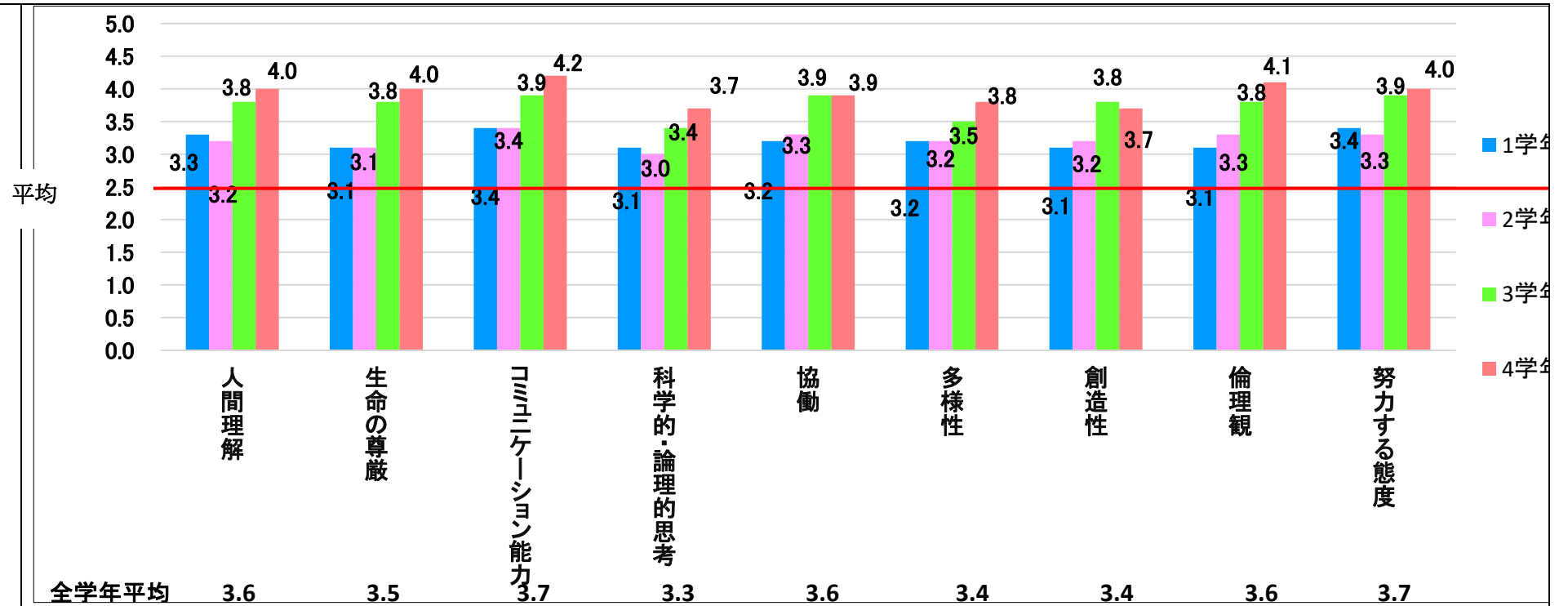


図1. 学修成果の把握（学科の目標 学位授与の方針）